

2017年4月21日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

わが国のスポーツ振興ならびにスポーツ政策の形成に寄与する
「笹川スポーツ研究助成」2017年度48件
総額 3,076万円 助成決定のお知らせ

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する公益財団法人笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野 清子 以下：SSF）は、日本のスポーツ振興に貢献する優れた人文・社会科学領域の研究活動を支援する助成制度『笹川スポーツ研究助成』の2017年度採択研究を決定しました。

本年度は、全国から175件の申請があり、学識経験者などで構成する選考委員会による厳正なる選考を経て、48件（総額：30,762,000円）が決定いたしました。

なお本日、SSF主催「笹川スポーツ研究助成」と日本科学協会主催「笹川科学研究助成」は、「研究奨励の会」を共同開催いたしました。（於：ANA インターコンチネンタルホテル東京）

2017年度笹川スポーツ研究助成 採択件数ならびに助成総額

研究テーマ		応募件数	採択件数	助成額
①スポーツ政策に関する研究	一般研究	27	7	11,266,000円
	奨励研究	32	11	
②スポーツとまちづくりに関する研究	一般研究	25	5	5,674,000円
	奨励研究	15	4	
③子ども・青少年スポーツの振興に関する研究	一般研究	37	8	13,822,000円
	奨励研究	39	13	
合計		175	48	30,762,000円

主な採択研究 ー対象者氏名・研究テーマについては、2枚目以降の「採択研究一覧」をご覧ください。

- ・原田 和弘氏（神戸大学 特命助教） 助成額 978,000円
『運動・スポーツの実践が高齢夫婦の精神的健康と夫婦関係に及ぼす影響』
- ・大和久 吏恵氏（日本女子体育大学 准教授） 助成額 994,000円
『東京オリンピック・パラリンピック時に役立つ必須英語表現テキスト作成
-スポーツボランティアを対象に-』
- ・町田 樹氏（早稲田大学大学院 大学院生 博士課程） 助成額 500,000円
『芸術的スポーツの著作権法による保護の妥当性に関する研究
-日・米のフィギュアスケートを中心に-』

『笹川スポーツ研究助成』は、2011年度に創設した助成制度です。スポーツに関する人文・社会科学領域の研究活動を支援し、わが国のスポーツ政策に関する議論を活性化させることを目的としています。募集のテーマは、①スポーツ政策に関する研究、②スポーツとまちづくりに関する研究、③子ども・青少年スポーツの振興に関する研究の3つとなります。

助成額は上限100万円の「一般研究」と、39歳以下の若手研究者を対象とした助成額上限50万円の「奨励研究」のふたつの枠で募集を行っています。

本件に関するお問い合わせ先
笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 研究助成担当：山田・宮本・藤岡・澁谷
TEL：03-5545-3303 grant@ssf.or.jp

2017年度 笹川スポーツ研究助成 採択研究一覧<一般研究>

テーマ1. スポーツ政策に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
東京都	竹村 りょうこ	上智大学	講師	一流女性テニス競技者の熟達化に関する研究(2) -deliberate practice・deliberate playの観点から-	675,000
東京都	新井 彬子	東京理科大学	助教	IOCによるRule 40の解釈変更の政策的背景とそのマーケティングへの影響	620,000
埼玉県	小木曾 航平	早稲田大学	助教	日本伝統スポーツの文化資源化に関するスポーツ人類学的研究	899,000
兵庫県	原田 和弘	神戸大学	特命助教	運動・スポーツの実践が高齢夫婦の精神的健康と夫婦関係に及ぼす影響	978,000
東京都	大和久 吏恵	日本女子体育大学	准教授	東京オリンピック・パラリンピック時に役立つ必須英語表現テキスト作成 -スポーツボランティアを対象に-	994,000
埼玉県	佐野 信子	立教大学	准教授	セクシュアル・マイノリティに配慮した保健体育科教育のあり方についての検討 -カナダ・オンタリオ州 2015年改訂版保健体育カリキュラムの理念と運用に学ぶ-	975,000
東京都	押見 大地	早稲田大学	助教	スポーツイベントにおける包括的社会効果尺度の開発 -2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて-	850,000

テーマ2. スポーツとまちづくりに関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
高知県	中澤 純治	高知大学	准教授	スポーツツーリズムによる地域経済振興の経済分析 -高知県黒潮町を事例として-	743,000
和歌山県	伊藤 央二	和歌山大学	講師	地域スポーツクラブにおけるスポーツ活動が社会的要因を通じて生きがいを与える影響の日加比較研究 -スポーツによる生きがい溢れるまちづくりを目指して-	980,000
大阪府	朴 永炅	大阪経済法科大学	教授	日・韓における中高齢者のハイキング活動と生活満足度に関する実証的研究	684,000
東京都	小松 史郎	東京都市大学	非常勤講師	わが国の大規模スタジアム・アリーナイベントの実態と収入力格差要因に関する研究 -スタジアム・アリーナのプロフィットセンター化のための課題の考察-	465,000
千葉県	工藤 康宏	順天堂大学	先任准教授	法人格を持つ総合型地域スポーツクラブの経営基盤の強靱化を目指して -クラブマネジメントに公共スポーツ施設の指定管理者と外部モニタリングをいかに導入するか?-	985,000

テーマ3. 子ども・青少年スポーツ振興に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
兵庫県	大庭 潤平	神戸学院大学	准教授	先天性上肢欠損児の鉄棒運動とマット運動の指導方法の検討 -体育用義手を用いた指導マニュアルの作成と啓発-	1,000,000
東京都	田中 千晶	桜美林大学	准教授	青少年のスポーツをはじめとする日常生活全般の身体活動質問紙の 妥当性の検討	999,000
北海道	厚東 芳樹	北海道大学	准教授	児童期の立位姿勢と歩行動作のあり方に身体活動量が及ぼす影響	872,000
岐阜県	春日 晃章	岐阜大学	教授	発育発達期における女子の運動、スポーツ離れに関する基礎研究 -女子が進んで取り組むためには何が必要なのか？-	1,000,000
埼玉県	宮下 政司	早稲田大学	准教授	生活習慣病予防のために必要な身体活動量および強度は？ -定量的評価法を用いた目標値設定に資する研究-	932,000
東京都	水村 真由美	お茶の水女子 大学	教授	幼児の運動能力に母親の健康が及ぼす影響 -幼児の体力向上を母子の生活習慣のつながりから考える-	880,000
山形県	池田 英治	山形大学	講師	幼児期の運動遊びは児童期の運動能力と実行機能に影響を及ぼす か？	998,000
大阪府	岡崎 和伸	大阪市立大学	准教授	青少年の身体機能および体力を向上する身体活動・運動量および生 活習慣・環境 -都市部における検討-	999,000

2017年度 笹川スポーツ研究助成 採択研究一覧<奨励研究>
テーマ1. スポーツ政策に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
東京都	町田 樹	早稲田大学 大学院	大学院生 (博士課程)	芸術的スポーツの著作権法による保護の妥当性に関する研究 -日・米のフィギュアスケートを中心に-	500,000
兵庫県	青山 将己	神戸大学 大学院	大学院生 (博士課程)	中央競技団体における統合・インクルージョン(健常者・障害者)に関する研究 -OCiIS ステージの検討-	500,000
東京都	石塚 創也	(公財) 日本体育協会	研究員	国内体育・スポーツ関連組織における「環境への配慮」の意識高揚・普及に関する研究 -オリンピック・ムーブメントにおける環境保護に関する指針および対策の事例に着目して-	500,000
愛知県	伊東 佳那子	中京大学 大学院	実験実習 助手	盆踊りの禁止と復興に関する歴史的研究 -岐阜県郡上おどりを事例に-	490,000
京都府	小林 壘	同志社大学 大学院	大学院生 (博士課程)	公共性を担保するスポーツ放送の考察 -英国におけるユニバーサル・アクセス権の形成過程を視点を-	478,000
茨城県	大林 太郎	筑波大学 大学院 /日本学術振 興会	大学院生 (博士課程)	関東大震災(1923年)からの復興と第12回オリンピック東京大会(1940年)招致に関する研究 -「復興五輪」の歴史的検討-	500,000
東京都	醍醐 笑部	早稲田大学	招聘研究員	日本におけるチャリティスポーツイベントの動向 -国際的・社会的課題解決に向けたスポーツイベントの役割に関する一考察-	478,000
東京都	石黒 えみ	亜細亜大学	講師	育児期女性の運動・スポーツ実施に影響を与える要因の質的研究 -「アクティブ・スポーツ・ママ」はなぜスポーツを実施できているのか-	382,000
東京都	山田 亜沙妃	国立スポーツ 科学センター	測定技術者	一流指導者におけるキャリア形成過程の仮説モデルの有効性についての実証研究 -新スポーツ的社会化理論の構築に向けて-	500,000
東京都	河野 隆志	東都リハビリ テーション 学院	専任講師	レスリング U-15 世代の競技活動継続に関する研究	482,000
東京都	富田 幸祐	一橋大学 大学院	大学院生 (博士課程)	1964年東京オリンピックにおける参加国・地域に関する史的研究	465,000

テーマ2. スポーツとまちづくりに関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
東京都	松橋 崇史	拓殖大学	准教授	メガスポーツイベントの関与自治体におけるソフトレガシーの形成要因 -2002年日韓FIFAW杯においてキャンプ地となった関与自治体を対象にした比較分析-	499,000
大阪府	奥野 輔	大阪大学 大学院	大学院生 (博士課程)	ポストコンフリクト地域におけるスポーツを通じた多民族融和の試みに 関する研究	431,000

千葉県	趙 倩穎	順天堂大学 大学院	大学院生 (博士課程)	地域スポーツクラブの組織文化に関する日中比較研究 -豊かなクラブ文化発展への基礎研究-	413,000
兵庫県	久保 雄一郎	神戸大学 大学院	大学院生 (博士課程)	地域スポーツチームにおけるチーム・アイデンティティがコミュニティ感 覚に及ぼす影響 -高校部活動チームにおけるチーム・アイデンティティの高低差からの 検討-	474,000

テーマ3. 子ども・青少年スポーツ振興に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
東京都	鈴木 健一	東京都板橋区立 蓮根小学校	主幹教諭	体育学習における恒常的な情報端末機器操作の慣れが協働学習に 与える効果の検証	500,000
愛知県	村田 祐樹	中京大学	助教	保健体育科教職課程におけるスポーツ事故の予防に関する教材の開 発と教育効果の検証	500,000
山梨県	長野 康平	山梨大学	科研費 技術者	福島県の屋内遊び場に関する研究 -屋内遊び場の物理的・人的環境の実態及びプレイリーダーのいる屋 内遊び場における子どもへの身体的効果-	500,000
埼玉県	森田 哲史	埼玉大学 教育学部 附属小学校	教諭	小学校体育授業における6年間を見通した指導計画の開発 -走の運動遊びからハードル走への系統的な指導-	500,000
福岡県	阪田 俊輔	九州大学大学院	学術協力 研究員	大学運動部員の利他主義の在り方が部活動満足感に与える影響	421,000
千葉県	夏原 隆之	東京成徳大学	助教	児童期および青年期の子どもにおける非認知スキルの発達とスポーツ 活動との関連性に関する研究 -スポーツの何が非認知スキルの獲得に寄与しているのか？-	500,000
北海道	吉田 昌弘	北翔大学	准教授	屋内体育施設で実施可能な間欠的持久力の測定手法の確立	500,000
兵庫県	中須賀 巧	兵庫教育大学	助教	大学運動部における動機づけ雰囲気と部員特性を基軸としたオーバ ーコミットメント抑制要因の検討	500,000
埼玉県	深町 花子	早稲田大学 大学院	大学院生 (博士課程)	青年期アスリートを対象としたメンタルヘルスの実態把握および心理的 援助へのニーズの解明	500,000
福岡県	須崎 康臣	九州大学大学院	学術協力 研究員	中学、高校、大学における運動部活動適応感と個人・環境要因との関 係に関する研究	500,000
茨城県	山中 裕太	筑波大学大学院	大学院生 (博士課程)	小学生水泳授業における水中安全訓練に着目した水球教材の開発と その有用性の検討	405,000
岡山県	小林 雄志	岡山大学	助教	ICTを活用した青少年の運動習慣形成・継続支援 -ARCS 動機づけモデルに基づくeラーニング教材開発-	316,000
神奈川県	山北 満哉	北里大学	講師	子どもの遊び・スポーツ経験と非認知能力の関連	500,000

※2017年4月1日現在の情報